

防犯・防災

防犯灯(LED)維持管理費について



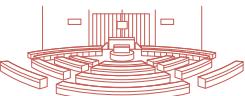
水上 享 議員

市内に設置されている防犯灯の維持管理費は各町内会の負担となっている。平成24年から5カ年で蛍光灯からLED灯へ取り換えられ、省エネルギー・長寿命化により、維持管理コストは低減している。しかし、4年後にはLED灯の耐用年数である10年を迎えるにあたり、取り換えには高額の費用を要する。今のうちから、対応策を講じるよう各種会議において町内会へ周知すべきと考えるが、市の見解について尋ねる。

答

防犯灯の維持管理に係る電気代について
は、LED化で安くなっています。引き続き町内会での負担をお願いしたい。一方、防犯灯の取り換え費用については、1個当たり2万円ほどかかり、地区別ミーティングや議会の一般質問において、町内会の負担では非常に厳しいという意見・要望を頂いている。このため、今後、必要な予算の確保を進めていきたい。

市政一般質問



質問

12月定例会では、19名の議員が質問を行いました。主な内容を紹介します。

●索引●

防犯・防災	P7	教育・文化・スポーツ	P13~14
生活・環境	P7~8	都市整備	P14~15
福祉・医療・保健	P9~10	行財政・一般	P15~16
産業・経済・労働	P11~12		

生活・環境

食品ロス削減のためには 冷蔵庫内の食品整理を



田中 博文 議員

近年増え続けている食品廃棄量は、全国で年間650万トン近くまで上り、削減への取り組みが急がれているところである。私たちにできる身近な取り組みとしては、まずは、冷蔵庫内を整理して、保存状況を絶えず知り得る環境を保つことと考える。「残さん、増やさん、腐らさん」の3さん運動実施中と書いたチラシを扇に貼り、注意喚起してほしい。

答

「残さん、増やさん、腐らさん」の3さん運動実施中と記載されたチラシについては、平成31年度の食品ロス削減に関するチラシの作成に当たり、ぜひ参考にしたい。



防犯・防災

ポンプ操法訓練場について



井上 潤一 議員

ポンプ操法は、火災発生時の消火活動に必要な的確性、俊敏性、安全性のための訓練であり、最も大切なものである。本市はポンプ操法訓練のための訓練場はなく、各分団も訓練場所を探すのに苦労しているのが現状である。壱岐市には、専用の訓練場があると聞いており、本市においても訓練場が必要と考えるがどうか。

答

臨時の訓練場所として、これまで、ボートレース大村の駐車場や総合運動公園の駐車場などを提供した。専用の訓練場については、過去には、消防団員が集まりやすい市の中南部で、夜間訓練の周辺への影響が極力少ない場所ということで候補地が3カ所あったが、既に売買等の予定や施設増築の計画があったため断念した。今後消防団と十分に連携を図りながら、広さや費用の問題、多目的に活用するための用途など、さまざまな観点から候補地の条件面等について精査し、場所の選定を進めていきたい。